



HEXAGEAR™

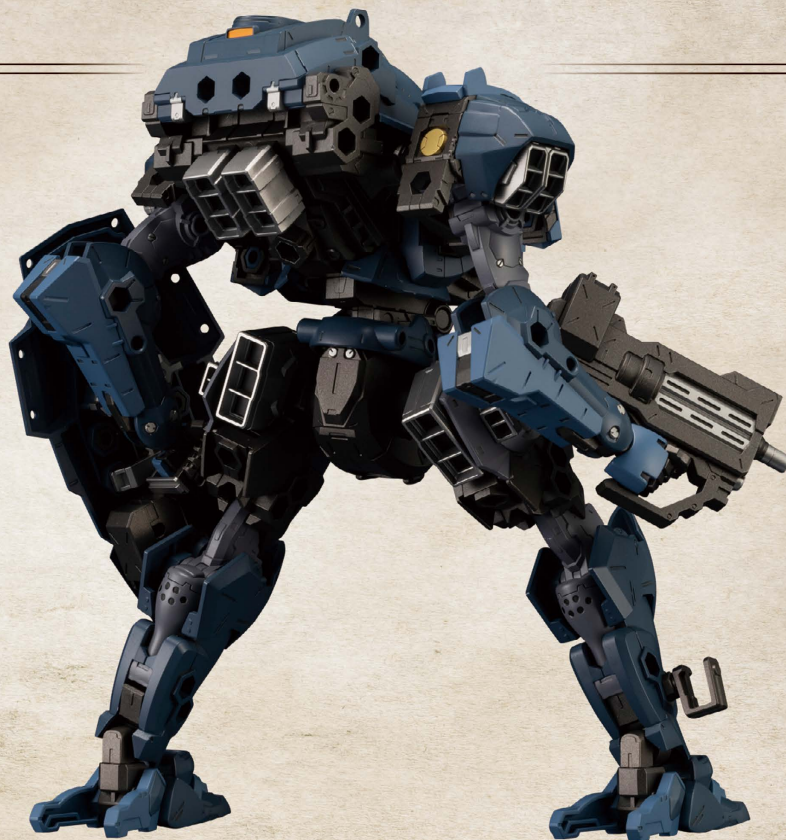
BULKARMλ JACKAL

ASSEMBLY MANUAL

CRAFTSMANSHIP
KOTOBUKIYA

©KOTOBUKIYA

COLOR GUIDE



●=Mr. カラーシリーズ (株式会社 GSI クレオス) ■=ガイアカラーシリーズ (ガイアノーツ株式会社)

●1 | Mr. カラー /H-1 水性ホビーカラー : ホワイト ●GX201 | Mr. メタリックカラー GX : GX メタルブラック ●SM201 | Mr. カラースーパーメタリック 2 : スーパーファインシルバー2 ■HG-01 | ヘキサギアカラー : ヘキサホワイト

ダークブルー

- 5/H-5: ブルー(75%)
- 13/H-53: ニュートラルグレー(20%)
- 2/H-2: ブラック(5%)

または
■HG-07: ヘキサブルー(100%)

ゴールド 1

- 【ベース】
- 8/H-8: シルバー(100%)

【コート】

- 49/H-92: クリアオレンジ(95%)
- 47/H-90: クリアレッド(5%)

ブルー

- 72/H-56: ミディアムブルー(80%)
- 1/H-1: ホワイト(10%)
- 67/H-39: パープル(7%)
- 2/H-2: ブラック(3%)

ゴールド 2

- GX210: GXブルーゴールド(100%)

グレー

- 1/H-1: ホワイト(65%)
- 71/H-55: ミッドナイトブルー(30%)
- 67/H-39: パープル(5%)

シルバー

- SM203: スーパーアイアン2 (100%)

ガンメタル

- 2/H-2: ブラック(60%)
- 8/H-8: シルバー(35%)
- 22/H-72: ダークアース(5%)

または
■HG-03: ヘキサフレームガンメタル(100%)

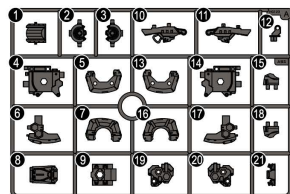
※こちらの塗料は全国の模型店及びホビーショップ等でお買い求めください。※塗料の配合比は参考値になります。ご了承ください。
※ABS製パーツへの塗装は、パーツの破損につながる恐れがありますので、お勧めできません。
※ラッカー系塗料(溶剤系アクリル樹脂塗料)と、水性塗料(水溶性アクリル樹脂塗料)は 混色できませんので、ご注意ください。



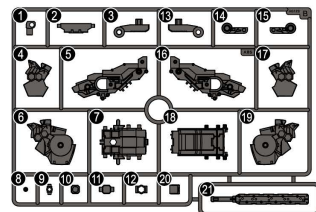
バルクアーム入 ジャッカル/パーツリスト

の部分は余りパーツです。

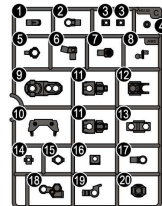
パーツA
(ABS)



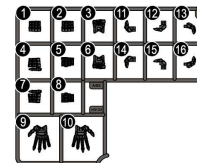
パーツB
(ABS)



パーツC×2
(ABS)



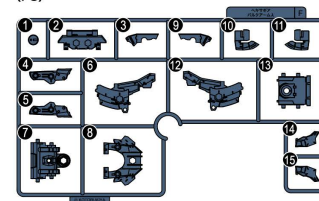
パーツD
(ABS)



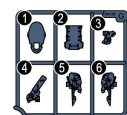
パーツE×2
(ABS)



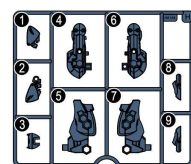
パーツF
(PS)



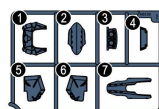
パーツG
(PS)



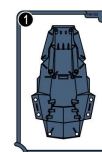
パーツH×2
(PS)



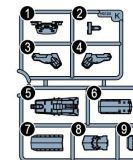
パーツI×2
(PS)



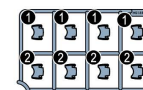
パーツJ
(PS)



パーツK×2
(PS)

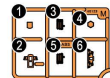


パーツL
(PS)

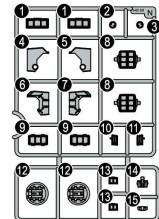


※K①、K⑦、K⑨の余りは
予備パーツです。

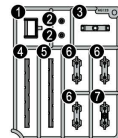
パーツM
(ABS)



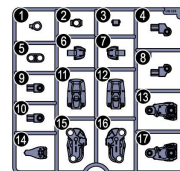
パーツN
(PS)



パーツO
(PS)

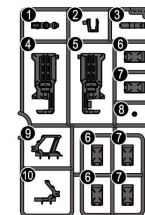


パーツP×2
(ABS)



※P①、P②の余りは
予備パーツです。

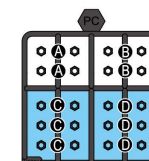
パーツW1
(PS)



パーツW2
(PS)



PC (ポリキャップ) パーツ
(PE)



※PC①の余りは
予備パーツです。

⚠ 組み立て前にお読みください。(下図のパーツは説明用の一例です。本製品のものではありません。)

⚠ 注意

- 本製品の対象年齢は15歳以上です。対象年齢未満の方には、絶対に与えないでください。
- 窒息などの危険がありますので、誤飲に注意してください。小さなお子様には絶対に与えないでください。
- 製法上やむをえず尖った形状の部品がありますので、誤って目や皮膚を刺さないように注意してください。
- 部品加工の際、出た削りカスを吸わないように注意してください。
- 塗料や接着剤の使用の際、必ず換気を良くして行なってください。
- 部品の加工の際、刃物の取り扱いには十分注意してください。
- ぶつけたり振り回すなどの、乱暴な遊びをしないでください。思わぬケガをする危険があります。
- 本製品は予告無く仕様を変更する場合がございます。ご了承ください。

■ 必ずお読みください。

- 組み立てる前に必ずパーツリストで各パーツの有無を確認してください。
- パーツはニッパー・カッター等できれいに切り取ってください。
(ケガには十分注意してください)
- 組み立てには、カッターナイフ・プラスチックモデル用塗料などを使用します。
- 塗料はより安全な水性塗料をおすすめします。
- 工具・材料は、模型用品取扱店等でお買い求めください。
- 塗装についてのお問い合わせはお答えできかねる場合がございます。

【パーツの接続について】

本製品の組み立てはハメ込み式ですが、別売りのプラスチックモデル用接着剤を使用して組み立てることで、よりしっかりとした仕上がりをお楽しみ頂けます。

※ABS製パーツが入っている場合、ABS用接着剤をご使用ください。

記号の説明



はめ込む



○内の順番で
組み立てる



パーツの向きに注意



破損に注意



切り取る



選択式



パーツの下にある
ゲートを切り取る



切り取る位置に注意

パーツ番号について

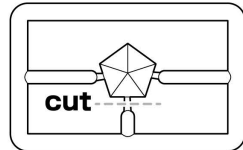
パーツ番号は数字とアルファベットの組み合わせで、構成されています。

〈A1の場合〉

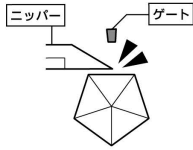


パーツの切り取り方

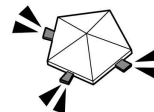
①パーツから少し離れた部分を切り取ります。



②ニッパーで残ったゲートの部分をきれいに切り取ってください。



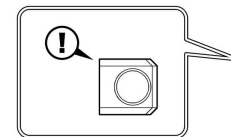
✕ゲートが残っていると、きれいに組み立てることが出来ません。



二重線の吹き出しについて

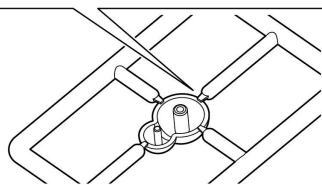
二重線の吹き出しは、『横から見た図』や『組み立てた図』などの補足図になります。形状をよく確認して組み立ててください。

〈使用例〉

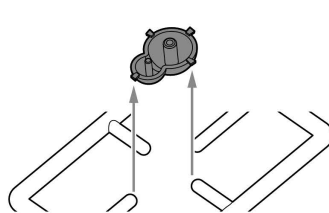


🔪のついたパーツの切り取り方

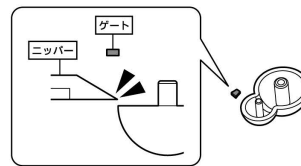
パーツの下側にゲートが付いています。



①パーツから少し離れた部分を切り取ります。



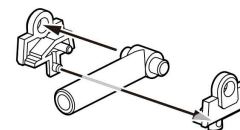
②ニッパーで残ったゲートの部分をきれいに切り取ってください。



はめ込む矢印のグレー部分

はめ込む矢印のグレー部分は、組み立てるパーツが他のパーツの下をくぐる場合や、軸や接続穴が隠れている場合に使用しています。

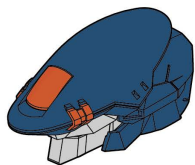
〈使用例〉



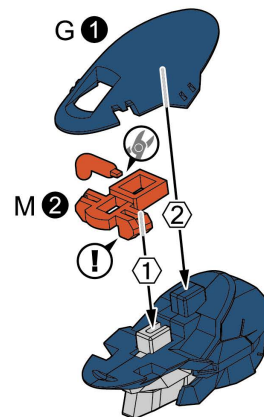
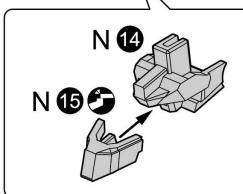
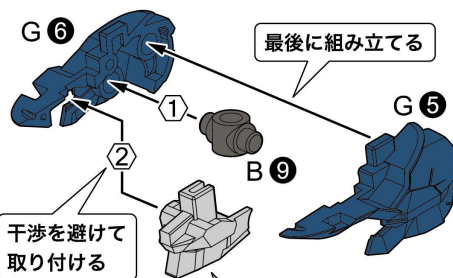
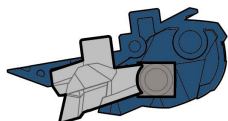
バルクアーム入 ジャッカル

頭部の組み立て

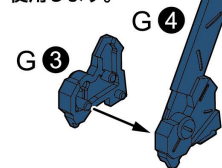
〈完成図〉



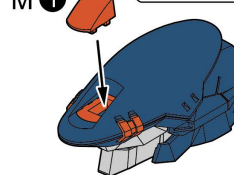
〈各パーツの取り付け位置〉
※説明のために一部パーツを省略しています。



※隊長機として組み立てる場合
使用します。

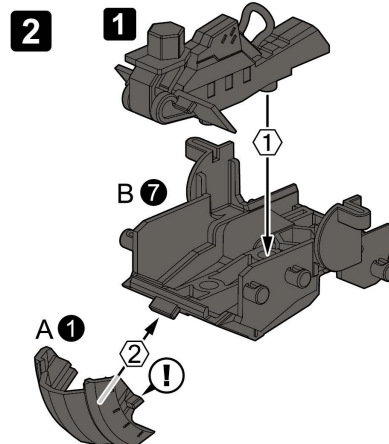
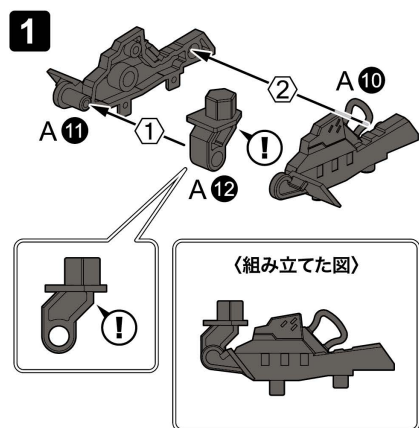
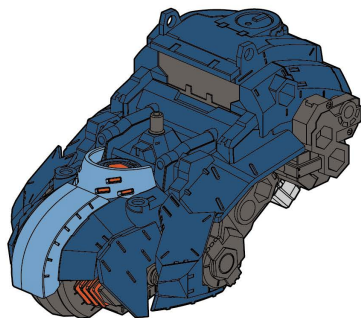


ゲートをきれいに
切り取る

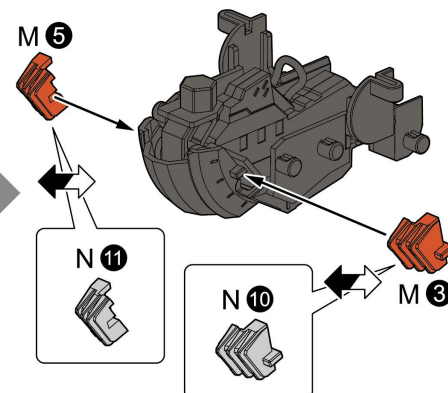


胸部の組み立て

〈完成図〉

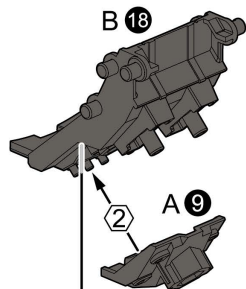
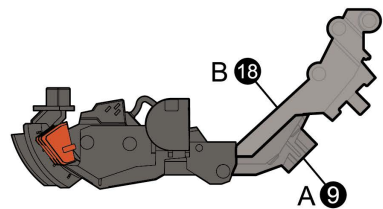


※好きな色のパーツを使用します。



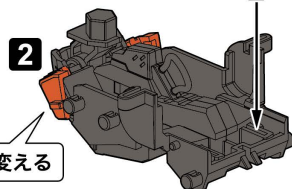
3

〈各パーツの取り付け位置〉



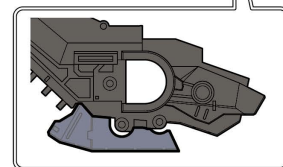
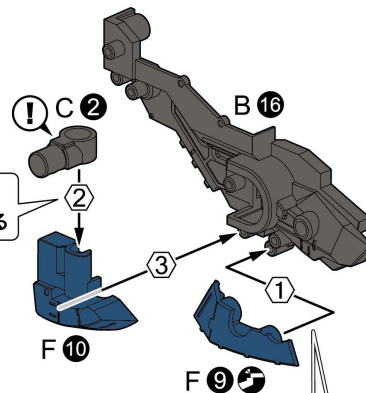
2

向きを変える



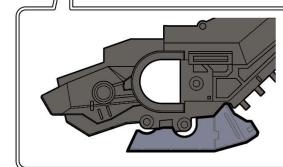
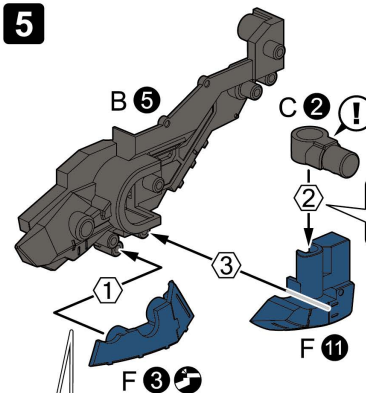
4

奥まで
取り付ける

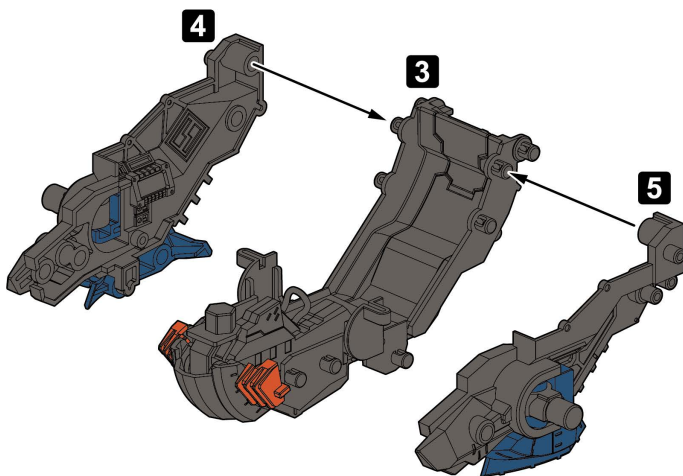


5

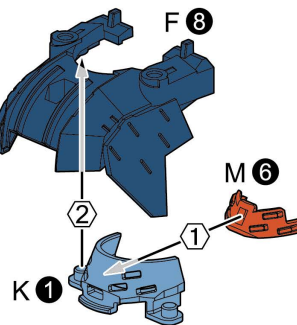
奥まで
取り付ける



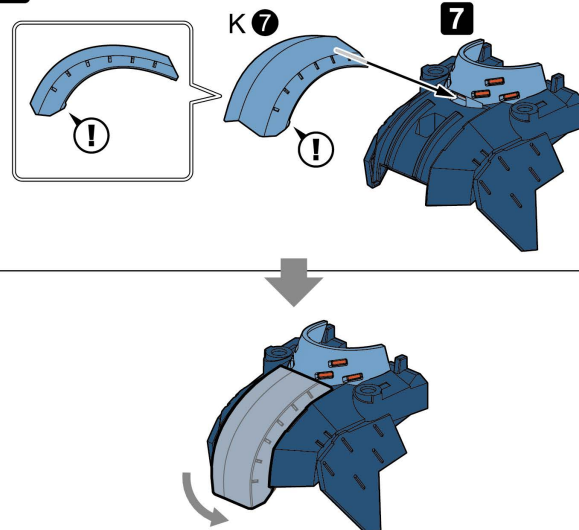
6



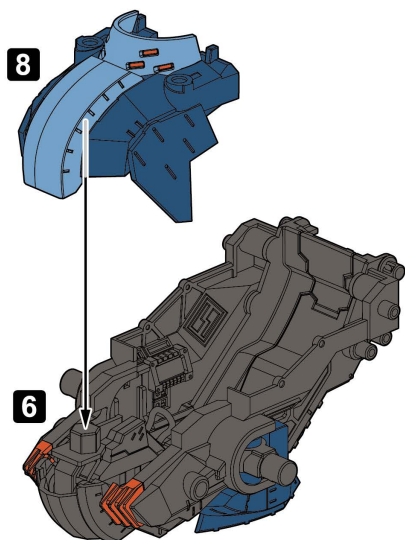
7



8

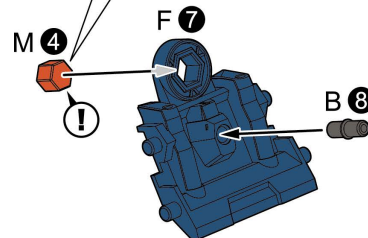


9

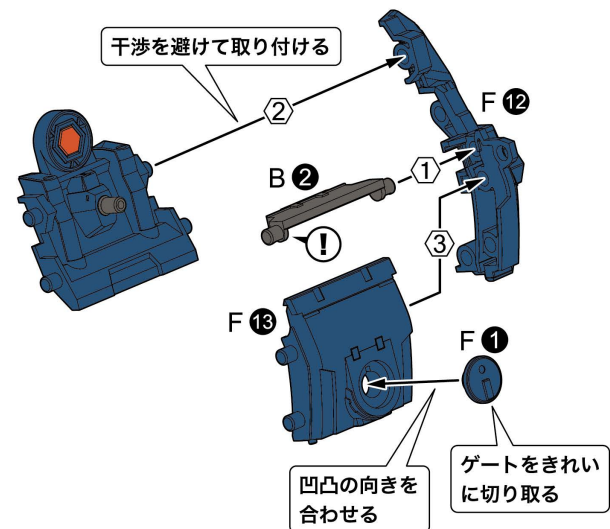


10

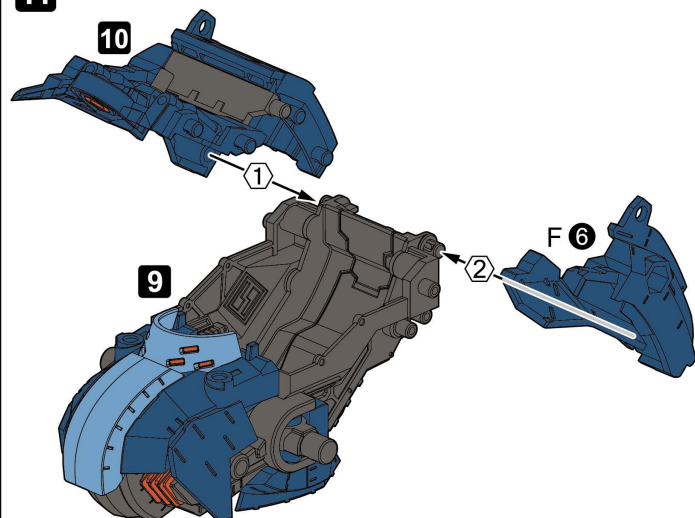
ゲートをきれいに切り取る



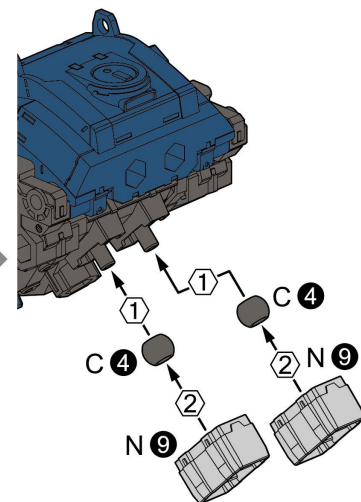
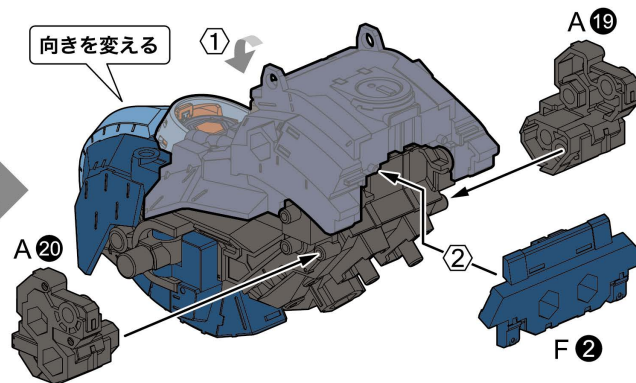
干渉を避けて取り付け



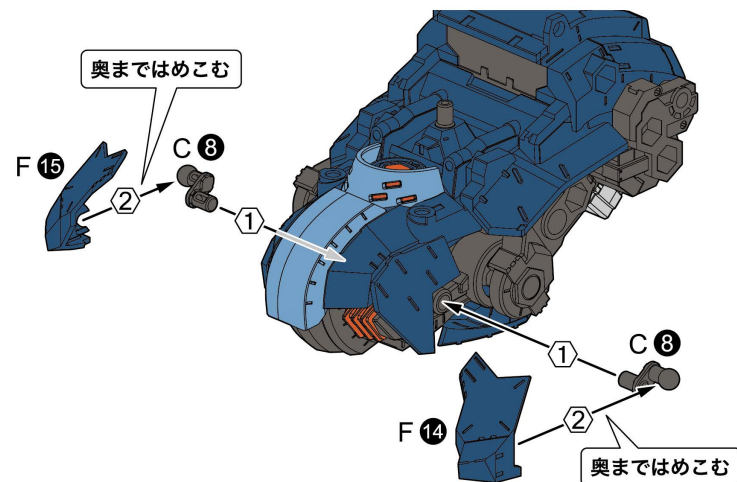
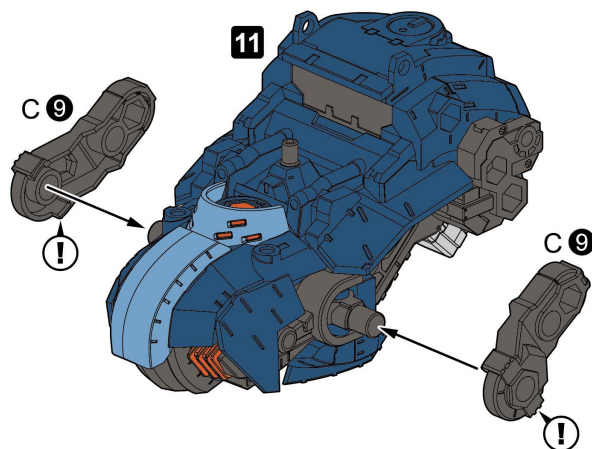
11



向きを変える

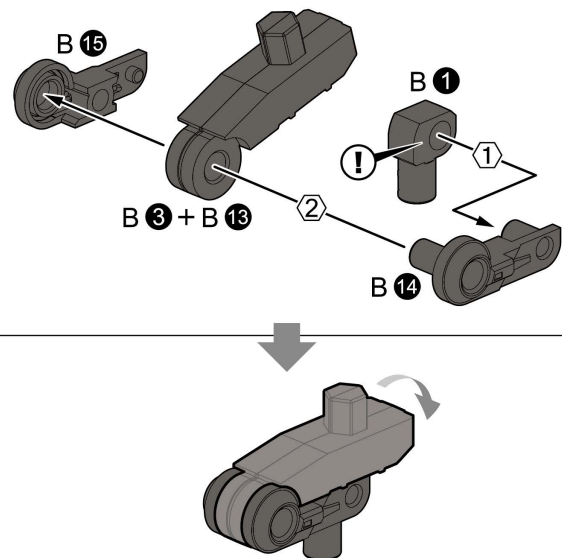
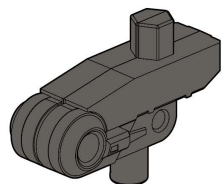


12



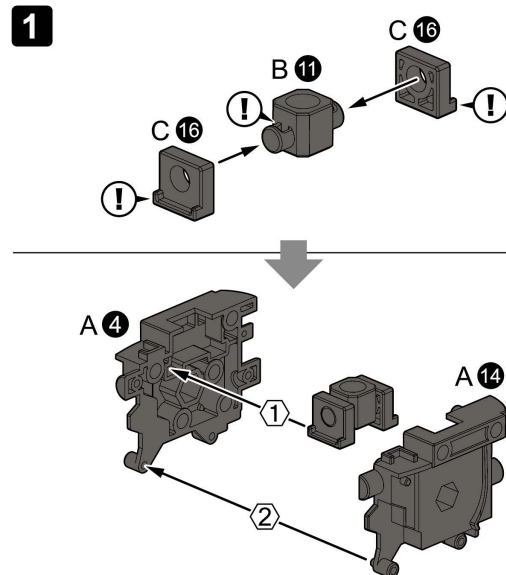
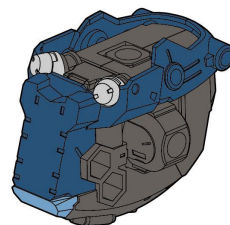
腰部ジョイントの組み立て

〈完成図〉

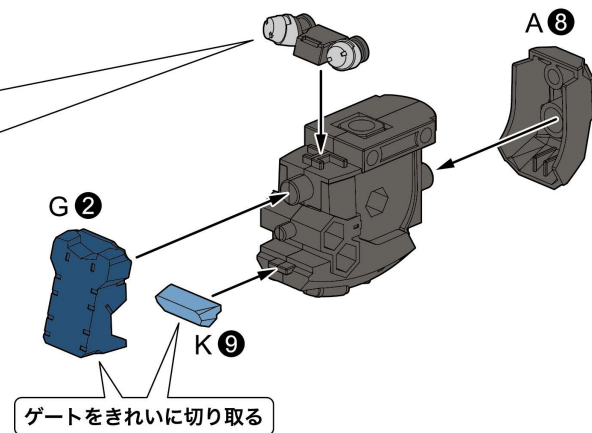
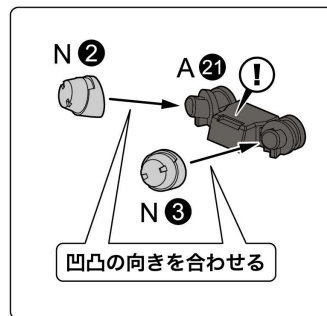
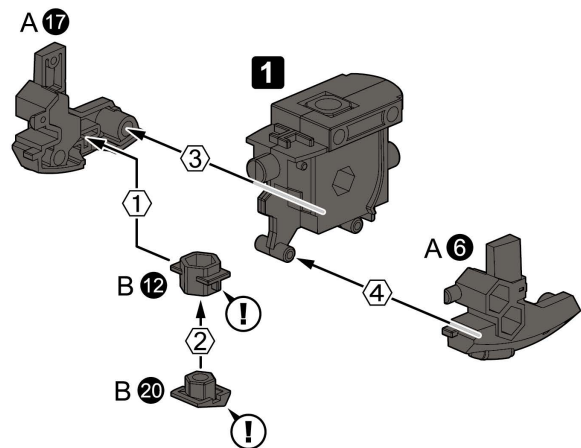


腰部の組み立て

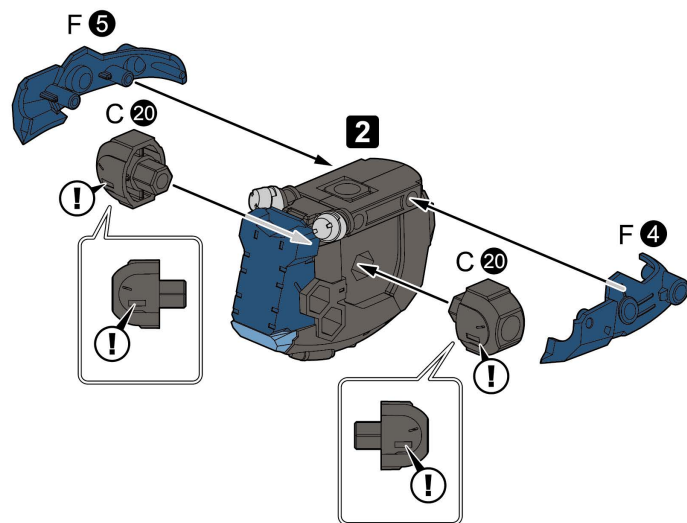
〈完成図〉



2

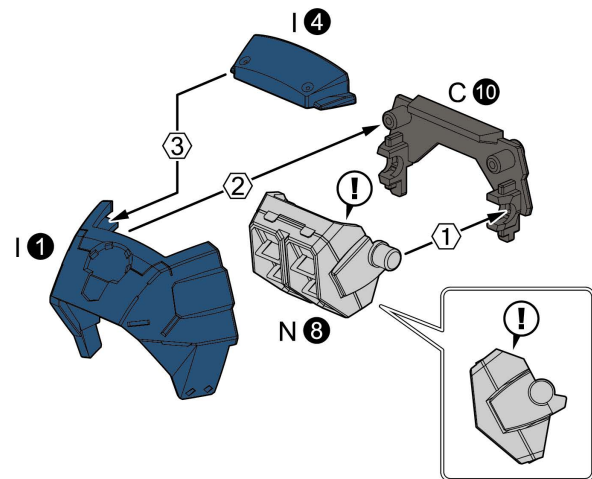
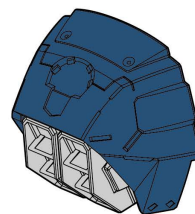


3



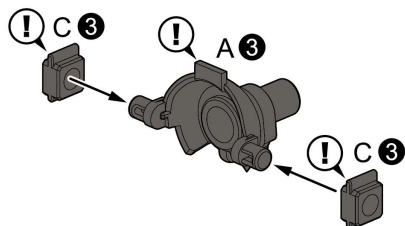
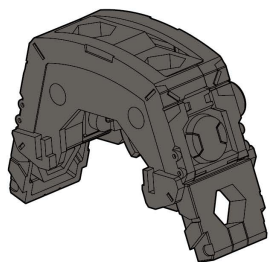
×2 肩部の組み立て

〈完成図〉

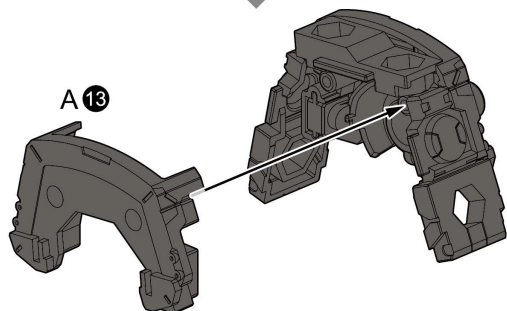
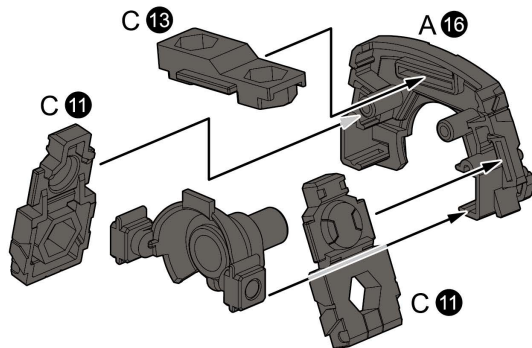
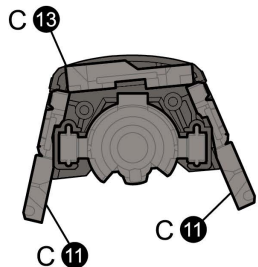


右肩部の組み立て

〈完成図〉

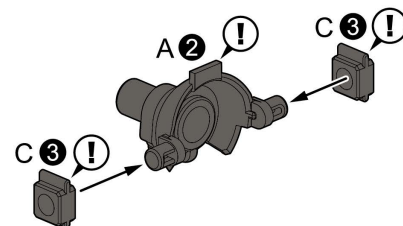
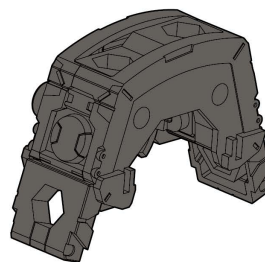


〈各パーツの取り付け位置〉

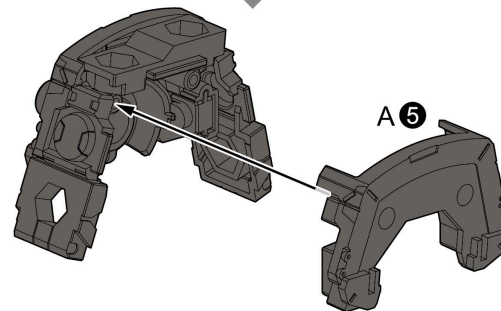
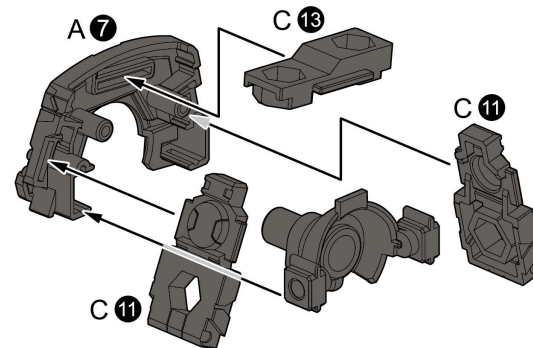
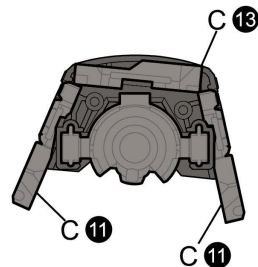


左肩部の組み立て

〈完成図〉



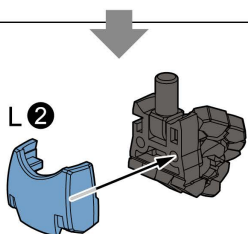
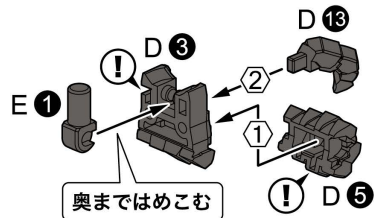
〈各パーツの取り付け位置〉



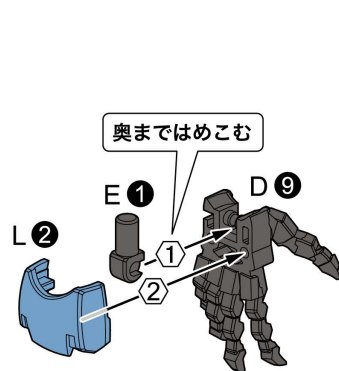
ハンドパーツの組み立て

※ハンドパーツは選択式です。

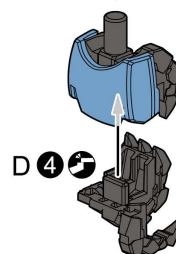
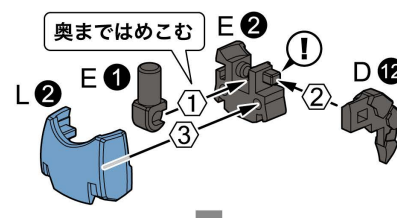
〈握り手(右)〉



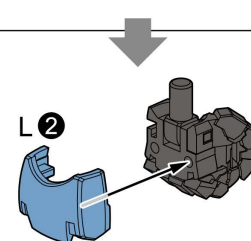
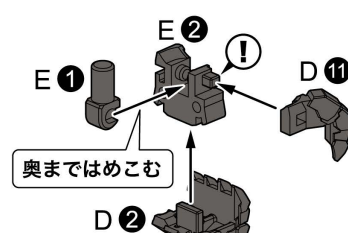
〈平手(右)〉



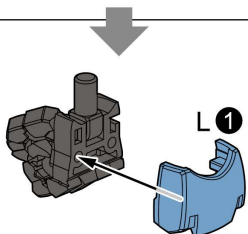
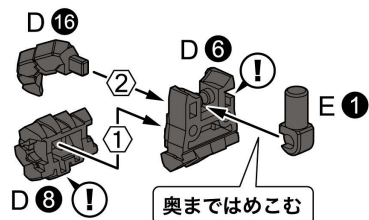
〈銃持ち手(右)〉



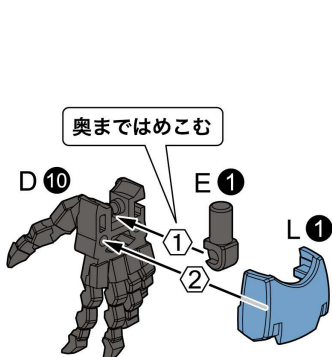
〈剣持ち手(右)〉



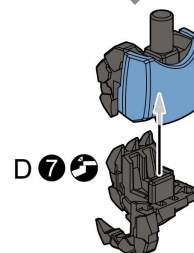
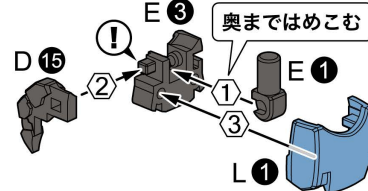
〈握り手(左)〉



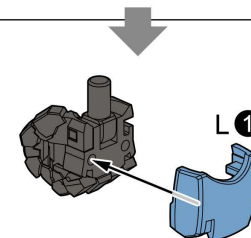
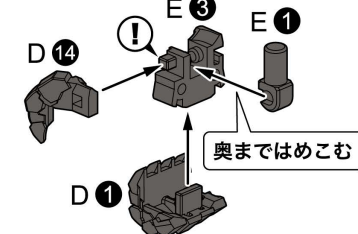
〈平手(左)〉



〈銃持ち手(左)〉

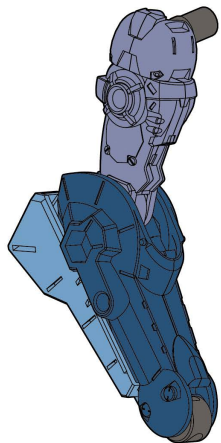


〈剣持ち手(左)〉

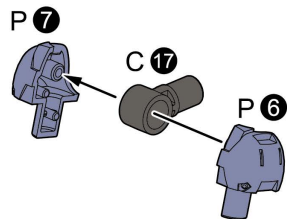


×2 腕部の組み立て

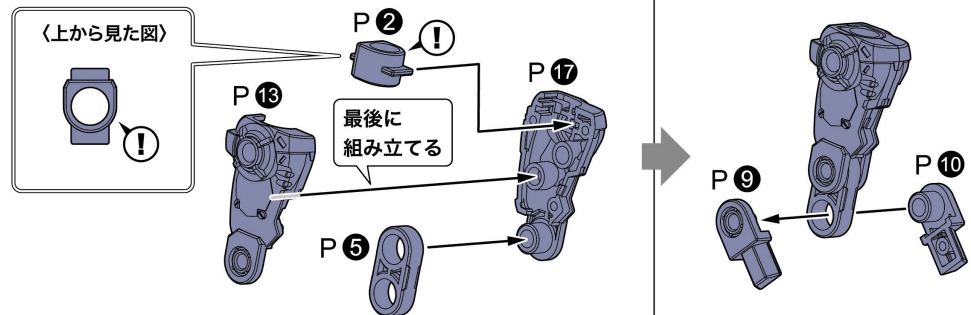
〈完成図〉



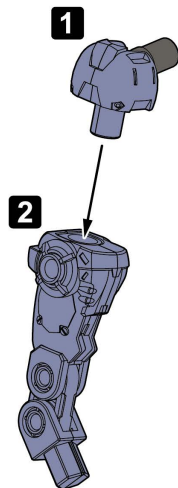
1



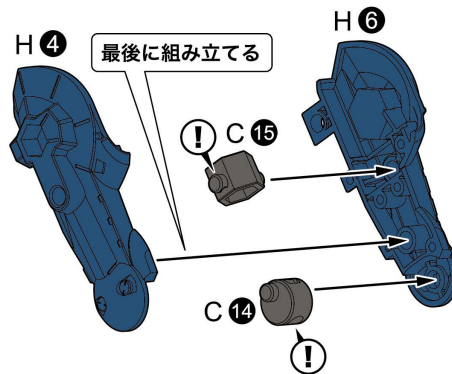
2



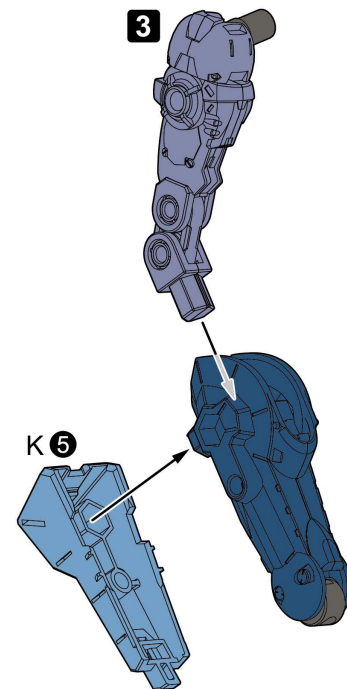
3



4

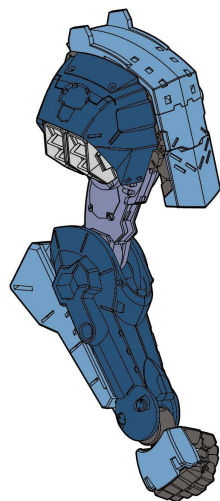


3

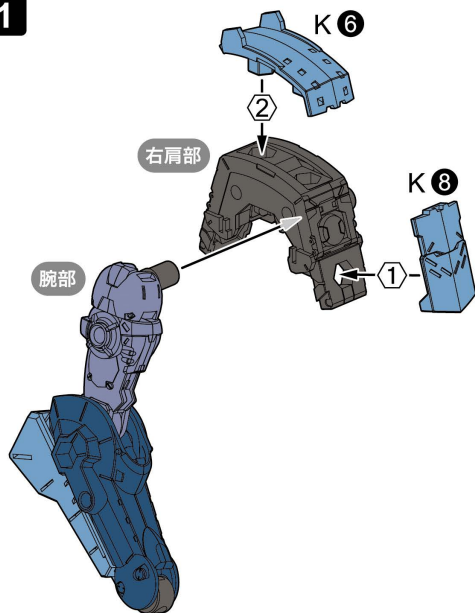


右腕の組み立て

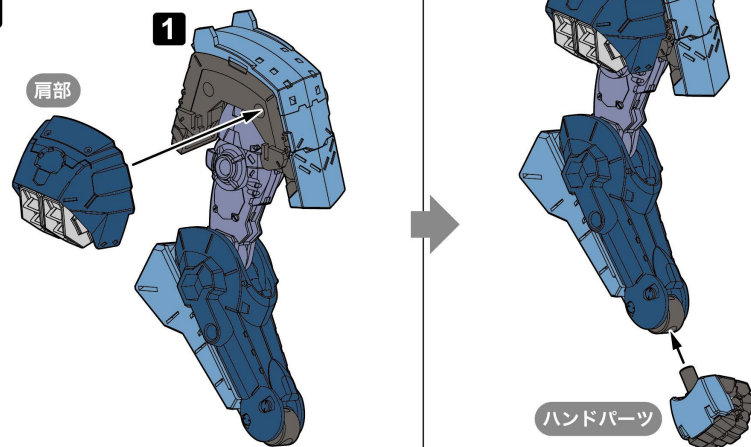
〈完成図〉



1

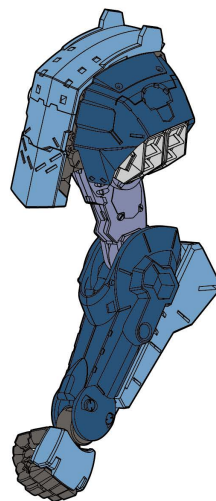


2

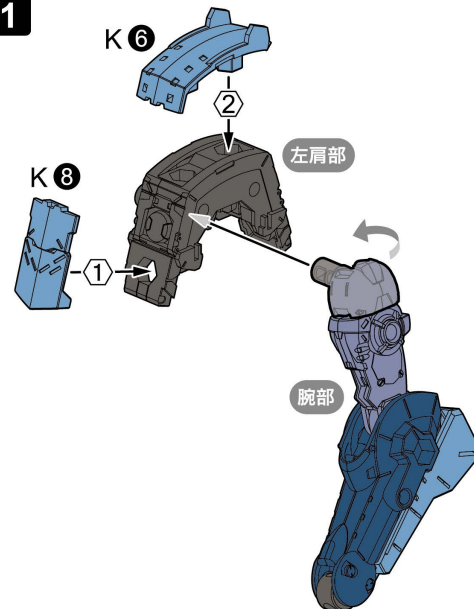


左腕の組み立て

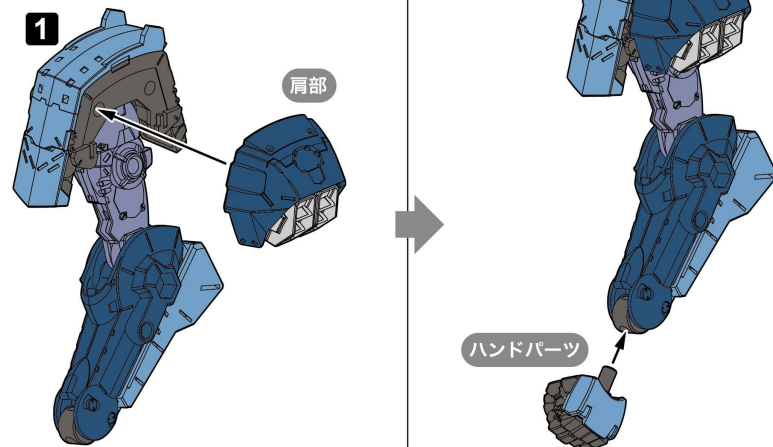
〈完成図〉



1



2



機体解説

「バルクアーム λ」とはMSGによって開発された第二世代型高エネルギーヘキサギア群の総称である。同機体群は主にヴァリアントフォース内の非パラボーン部隊での運用、そしてMSGと協調関係にあるヘテロドックス武装勢力への兵器供与に用いられているが、本項で扱う「ジャッカル」はその中でも市街地戦闘に特化した装備調整が施された仕様であり、供与を受けたヘテロドックスでは主としてヘテロドックス同士の抗争、支配地の居留民や反乱者に対する示威、治安維持活動などの目的で運用されている。敢えて第三世代ヘキサギアの登場によって旧態化の兆しを見せ始めたバルクアーム系列をベースに開発された理由としては、長時間の警戒任務に有用な装甲密閉型操縦席、そして行軍速度や整備環境など第三世代ヘキサギアの運用実績の乏しい組織集団でも導入と運用が容易であった事などが上げられる。操縦システムにはBMI（ブレインマシニングインターフェイス）が採用されており、搭乗するガバナーはアーモータイプないしはヘッドセット等を通して機体を操作する事となる。また、パラボーンが搭乗する際にはプロジェクト・リジェネシス憲章に起因する制限が課される。

機体の総合的な性能としてはバルクアーム系列の汎用性と堅牢さを継承しつつも四肢の動作速度を重視して各部を軽量化、駆動系もヘキサグラムから変化した人工筋肉によって構成し、更に自兵戦における加速性能を増強するために背部と四肢の付け根に新型エアマニューバスラスタを装備するなど、第二世代らしからぬ軽快さが高く評価されている。

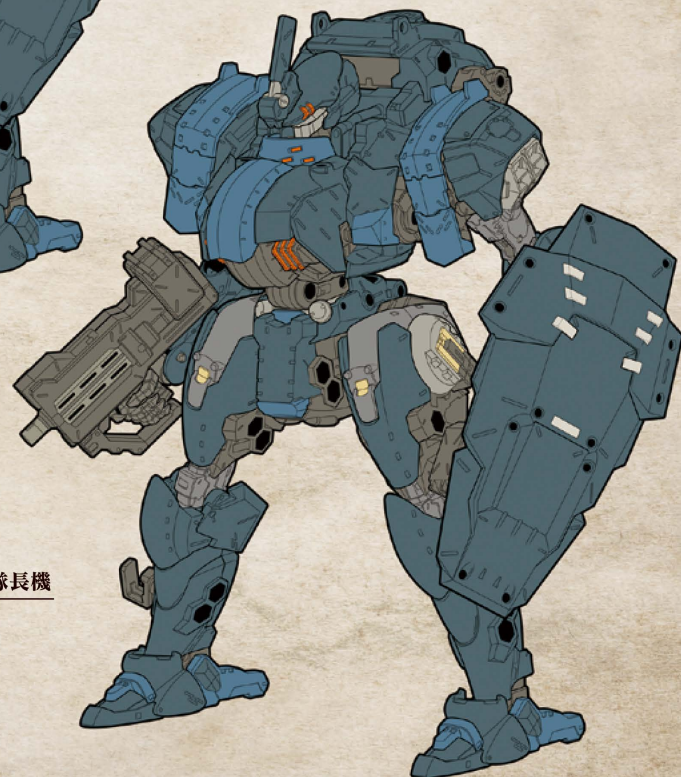
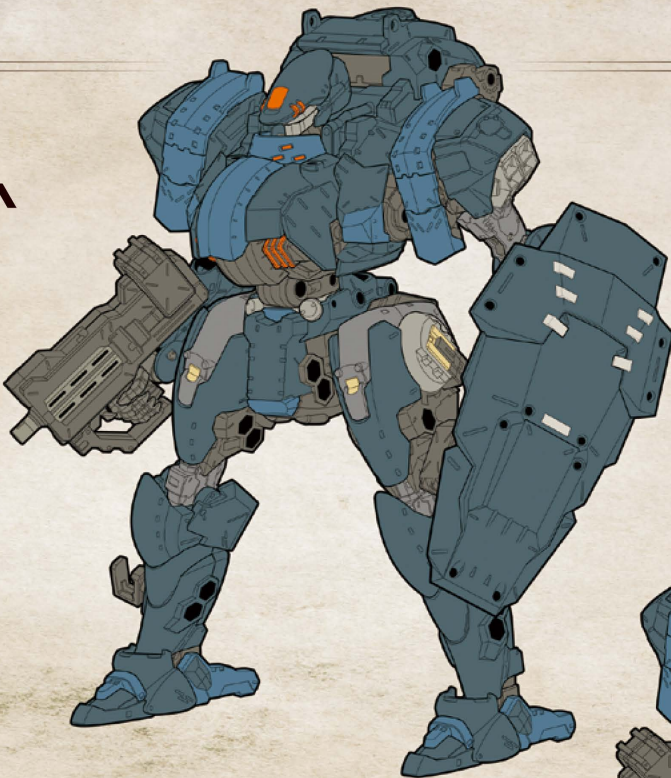
また、低下した防御力はオプションとして多数用意された盾や追加装甲によって適宜補われ、人型であることに起因する攻撃手段の自由度も維持している。こうした装備の選択肢の広さはバルクアーム・グランツとは異なるベクトルでの第2.5世代の姿を体現しているともいえ、運用次第では第三世代ヘキサギアともある程度渡り合う事が可能となっている。

しかし、これらの高性能は全てある目的から策定された戦略でもある。

日々を戦場に暮らしているヘテロドックス達からすれば同機の供与は非常に魅力的な提案である。だが裏を返せばその代替不可能な高性能は保守や整備におけるMSGからの支援の全面的な依存を意味する。MSGは備品の供給を調整するだけで稼働機体数、ひいては各勢力のパワーバランスをも操作し、各地の抗争そのものすらMSGの意思決定に左右されるものとなっていた。

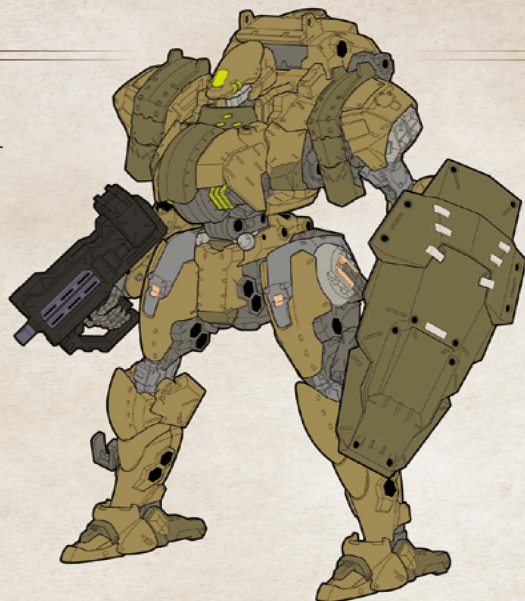
こうしてMSGは各地の勢力闘争を間接的にコントロールし、知らずに関与を受け容れた多くのヘテロドックスはヴァリアントフォースに吸収され、または瓦解離散していった。

「ジャッカル」はその機体特性から都市部での活動が主となり、一般の非戦闘員の耳目に晒される機会も多い。そして目撃された際の凄惨な姿から、「MSGの狗」として恐れられている。

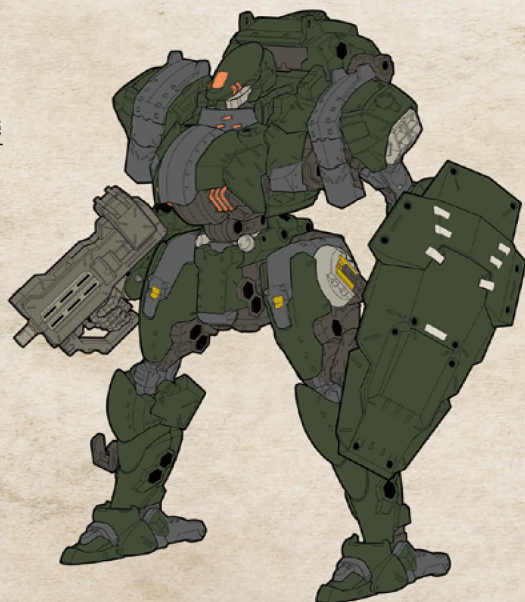


隊長機

カラープラン A：砂漠戦仕様



カラープラン B：密林戦仕様



■ヘヴィサブマシンガン：モータードッグ

ストップングパワーを最優先した大口径弾に対応するため分厚く堅牢なフレームと相応の重量を持つ対ヘキサギア用の短機関砲。遮蔽物の多い市街地戦において取り回しの良さは高いアドバンテージとなるが、短銃身と大口径弾がもたらす激しい反動は制御が難しく、あくまでも近距離での制圧戦闘で用いられる。

■シールド：バリケードシェル

バルクアームⅧ系の標準装備となるシールド。機体サイズに対して比較的小型かつ軽量にまとめられており、シリーズ全体の基本コンセプトが強く現れている。強化炭素繊維と高弾性樹脂による複合装甲は対弾性能だけでなく第三世代ヘキサギアの強力な格闘攻撃にも耐える防刃性能も併せ持っている。また、裏面は各種兵装のマウントとしても機能する。

■プラズマロッド：ハングリーバイト

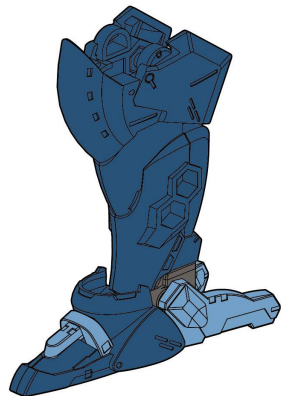
シールド内部に格納された近接戦用ロッド。シャフト部分に配列された端子から瞬間的にプラズマフィールドを形成し、対象にプラズマキャノンと同様の熱・電磁気ダメージをもたらす様は「殴る」というよりも「割り取る」という表現の方が近い。

■ポリゴナルブラスト（エアマニューバスラスター）

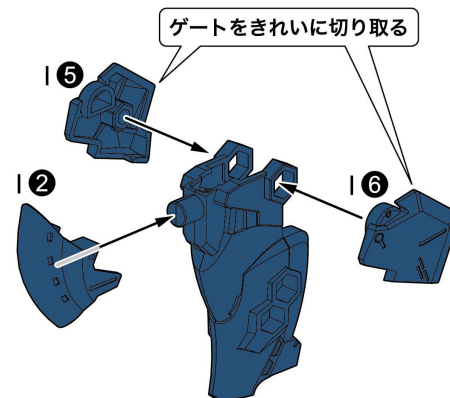
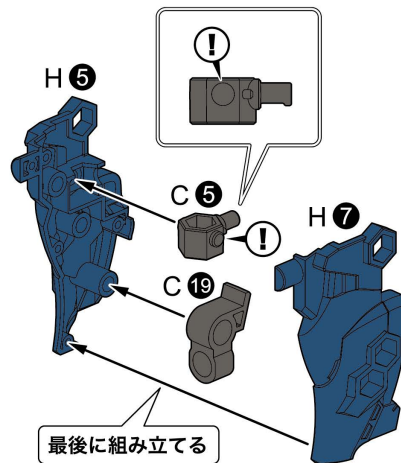
背部と四肢の付け根に装備された推力噴射装置。既存のエアマニューバスラスターの発展型であり、内蔵コンデンサに昇圧蓄積したエネルギーを瞬間的に解放する事で爆発的な推力を発生する。機体に優れた瞬発力を付与する反面、一度使用すると再度の跳躍まで数秒の充電時間を要する為、ガバナーは常にシビアな判断を求められる。また通常のスラスターとしての使用も可能であるが、その際は連続噴射時間の面において優れている。

×2 脚部の組み立て

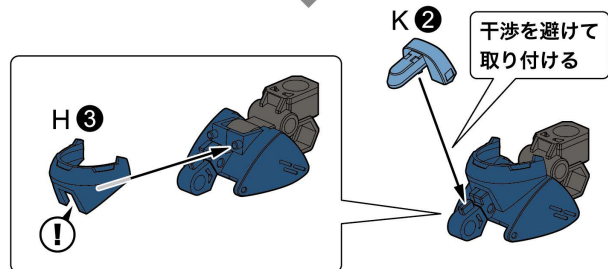
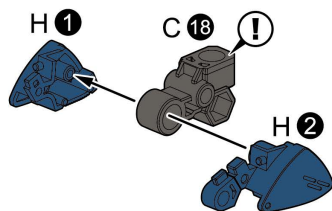
〈完成図〉



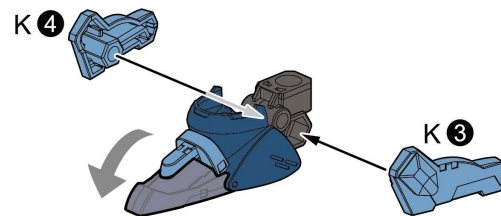
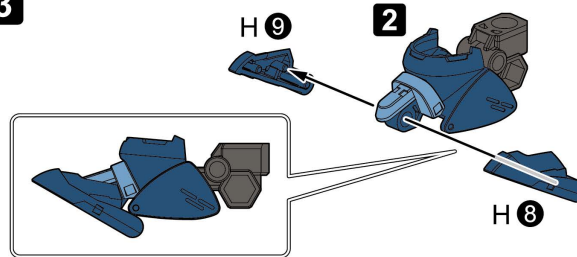
1



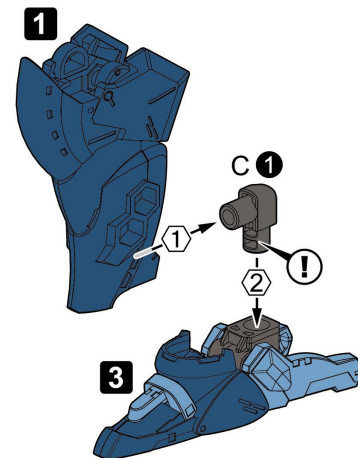
2



3

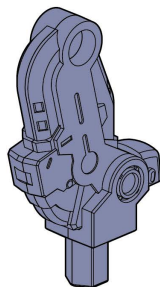


4

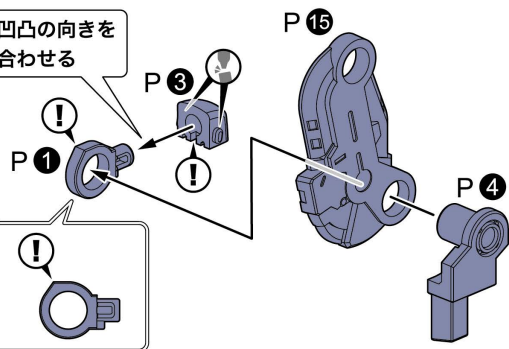


×2 膝関節の組み立て

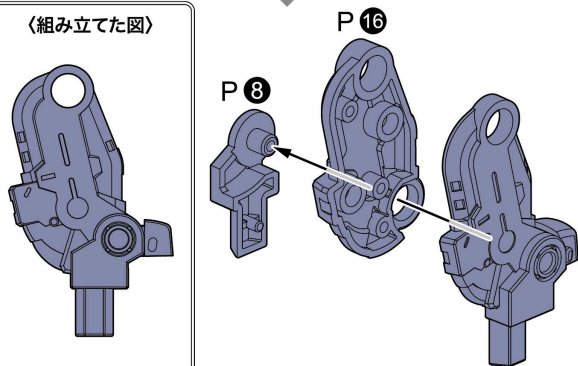
〈完成図〉



凹凸の向きを
合わせる

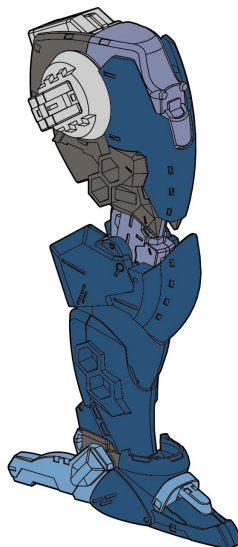


〈組み立てた図〉

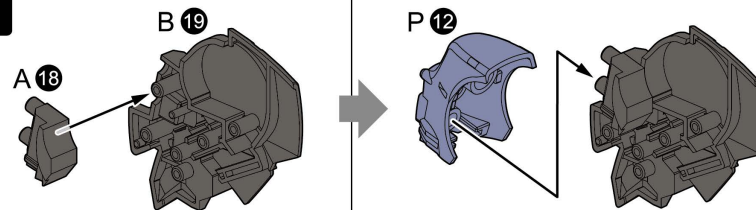


右脚の組み立て

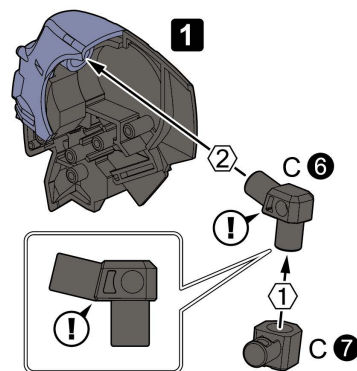
〈完成図〉



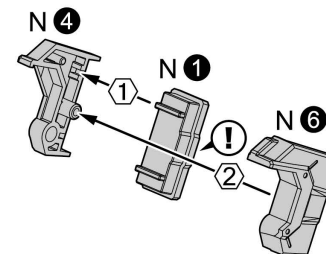
1



2

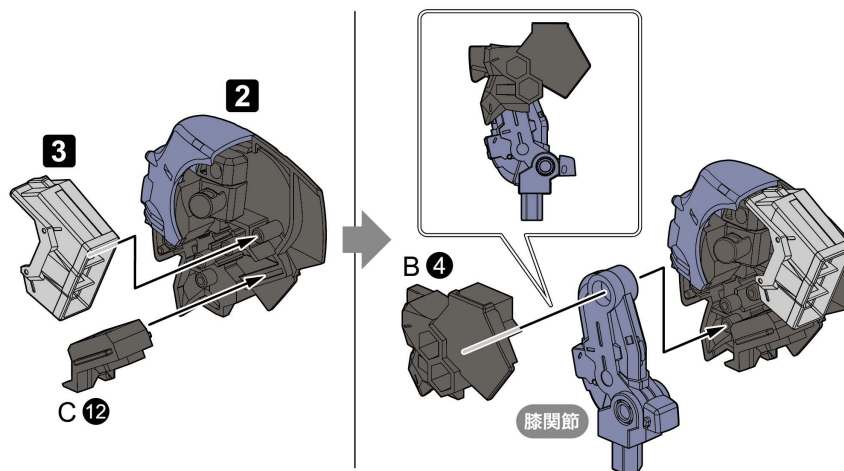
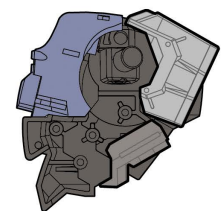


3

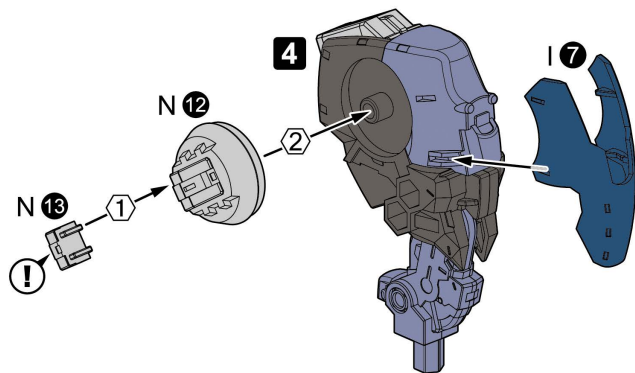


4

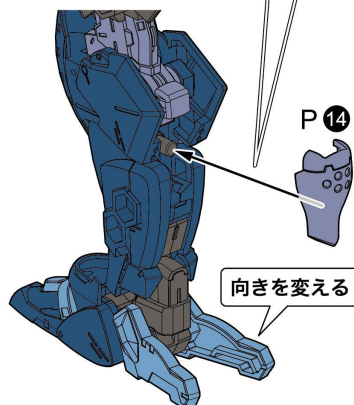
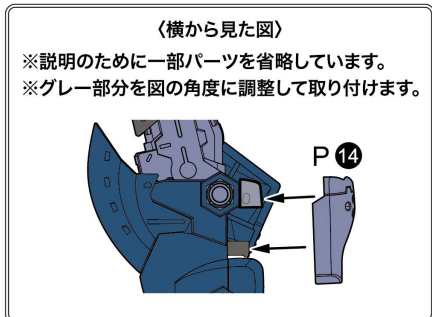
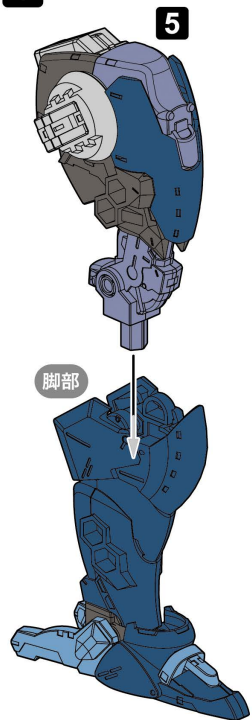
〈各パーツの取り付け位置〉



5

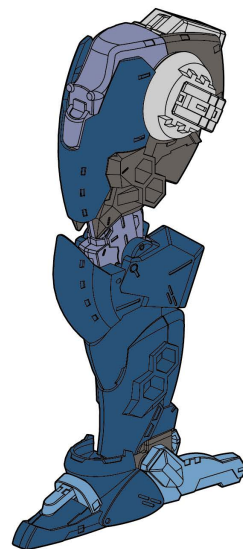


6

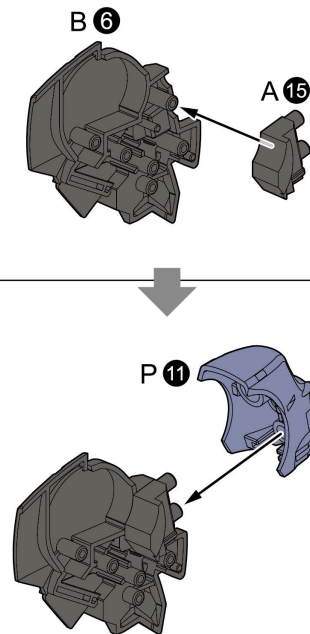


左足の組み立て

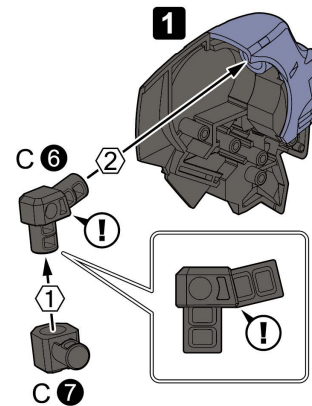
〈完成図〉



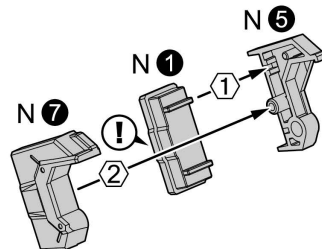
1



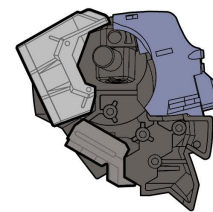
2



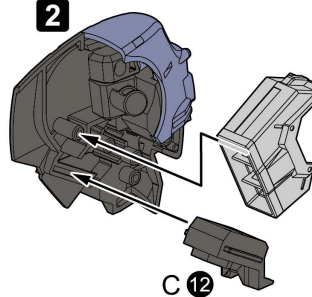
3



〈各パーツの取り付け位置〉

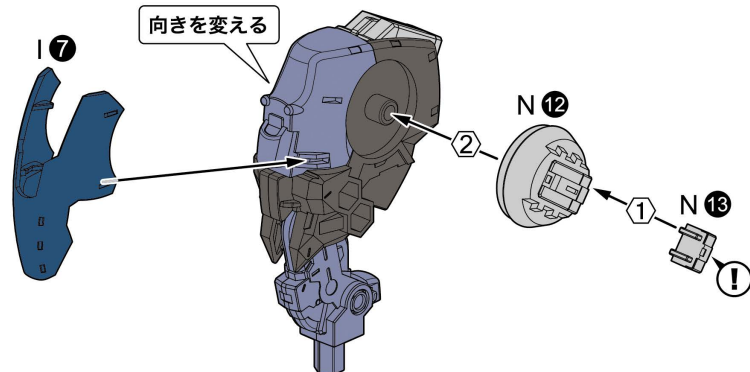
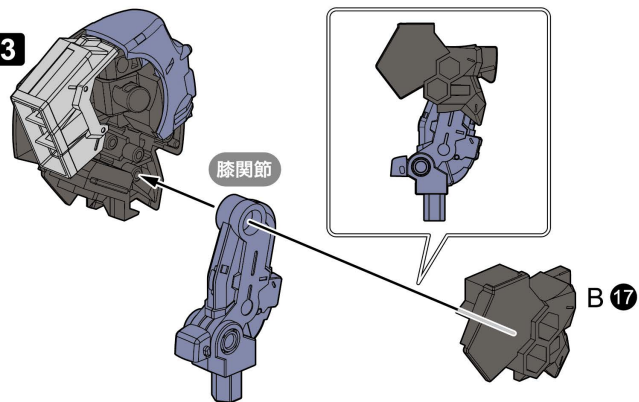


2



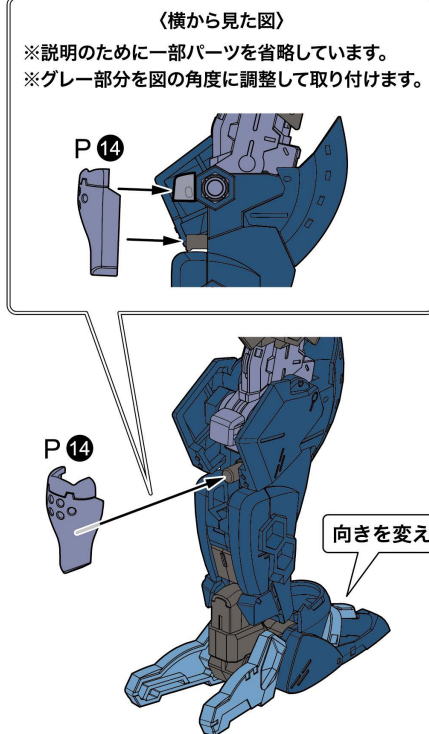
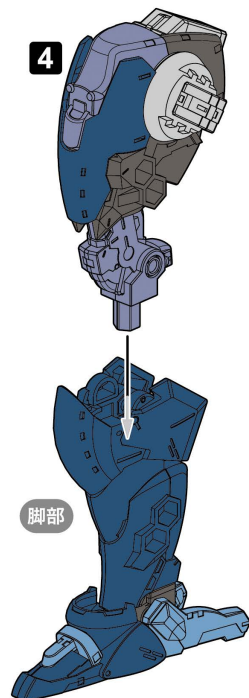
4

3



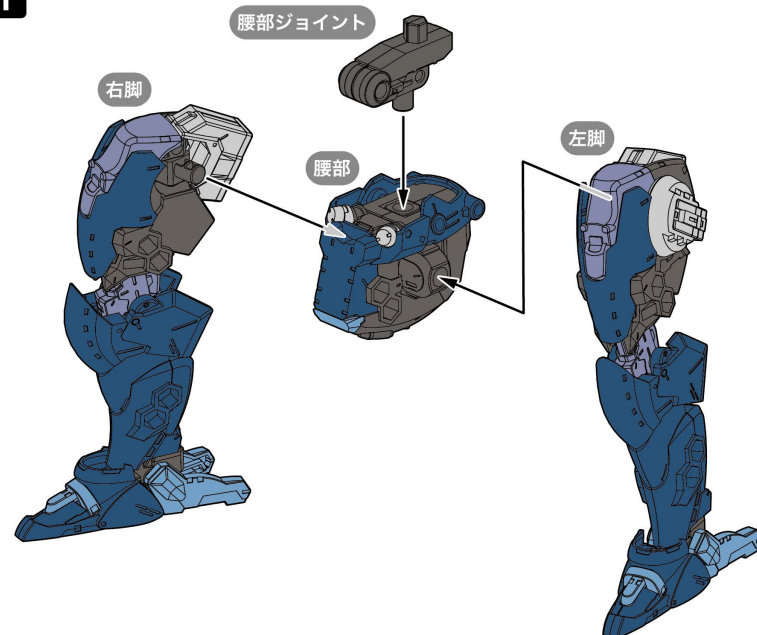
5

4

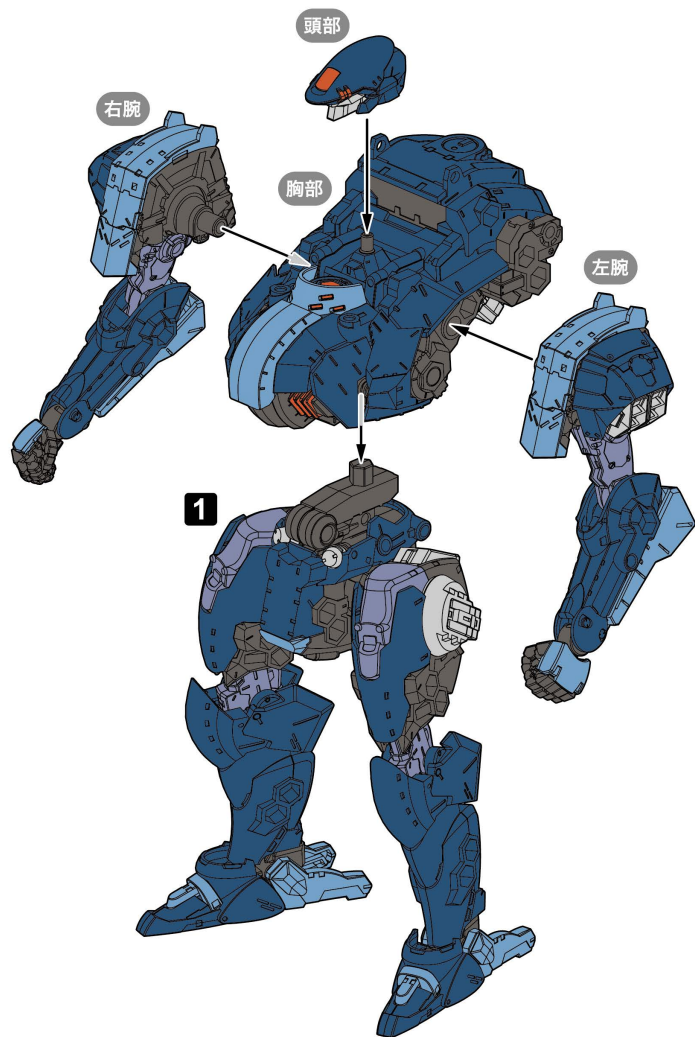


バルクアーム入 ジャッカルの完成

1



2

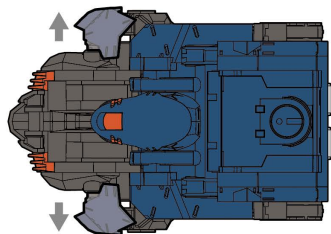


ガバナーシリーズの搭乗方法

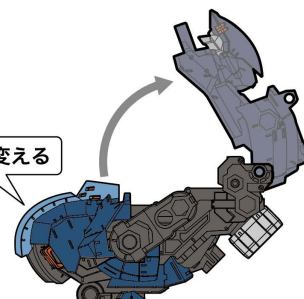
※説明のために一部パーツを省略しています。

1

バルクアーム入 ジャッカル

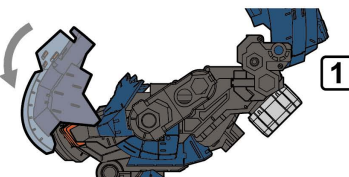


向きを変える



2

干渉を避けて動かす

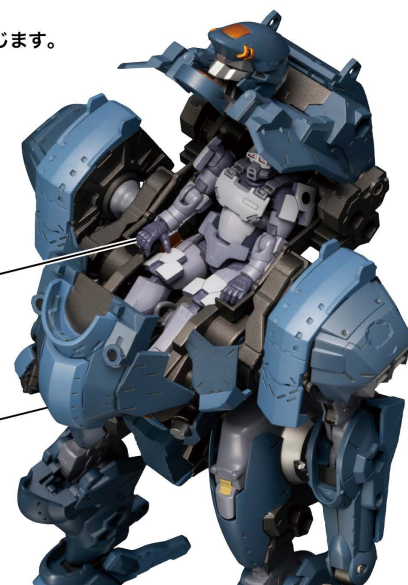


3

※画像を参考にガバナーシリーズを搭乗させます。
 ※ガバナーを乗せた後は、①の手順を逆に行って胴体を閉じます。
 ※画像は塗装完成品を使用しています。
 ※ガバナー パラポーン・センチネル Ver.1.5(別売り)を使用しています。

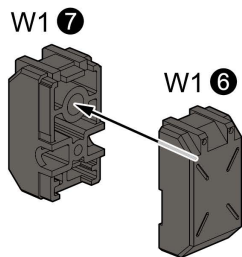
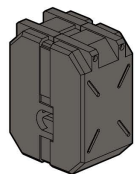
ガバナー パラポーン・センチネル
 Ver.1.5(別売り)

2



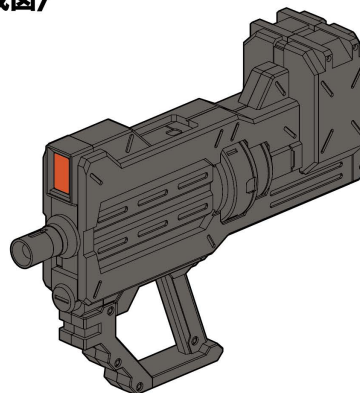
×3 マガジンの組み立て

〈完成図〉

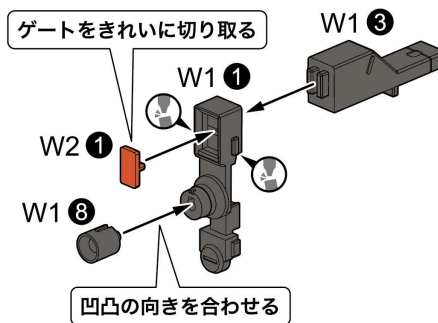


ヘヴィサブマシンガンの組み立て

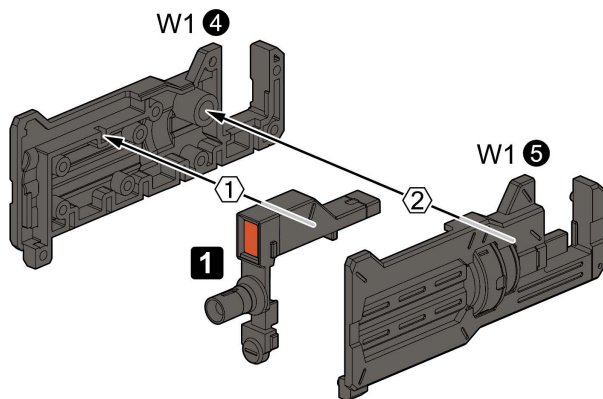
〈完成図〉



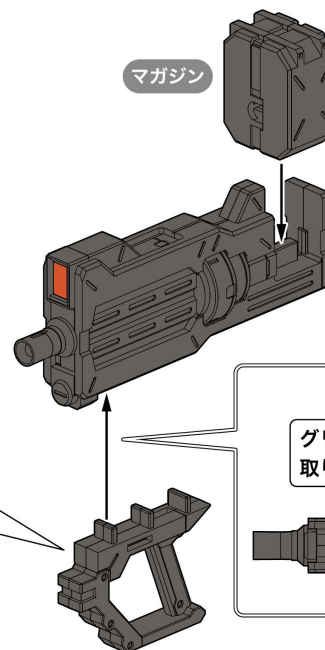
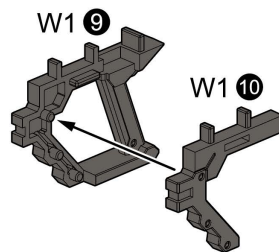
1



2

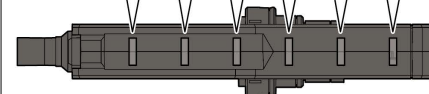


〈グリップ〉



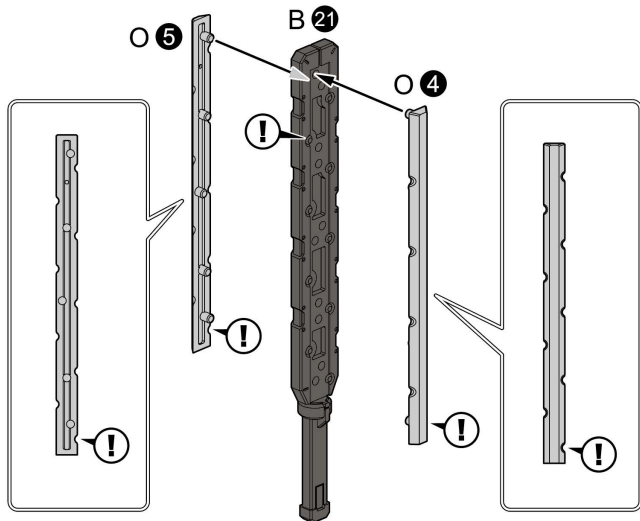
〈下から見た図〉

グリップは図のグレー部分から選択して取り付ける



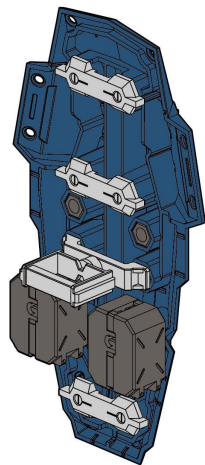
プラズマロッドの組み立て

〈完成図〉

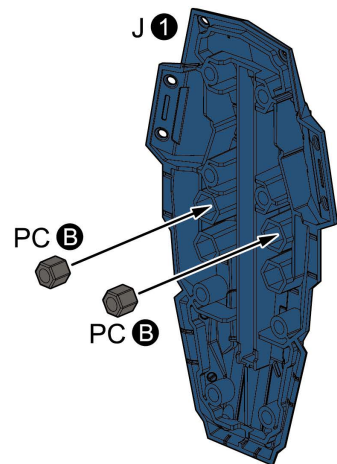


シールドの組み立て

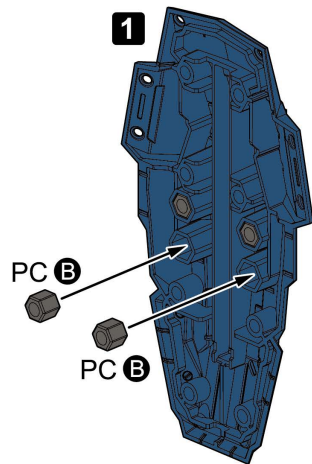
〈完成図〉



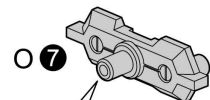
1



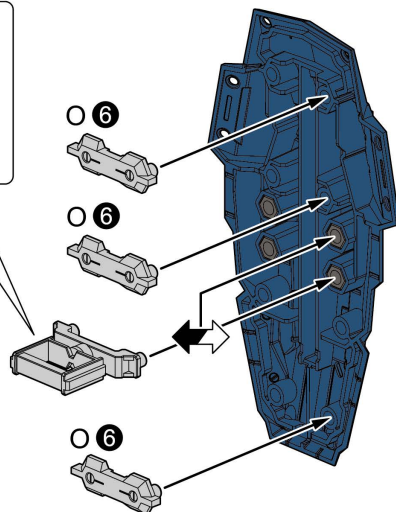
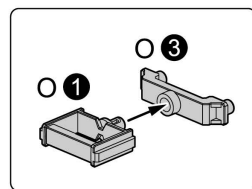
2



〈O 7 パーツについて〉
※O 6 と交換することで3mm軸として使用できます。

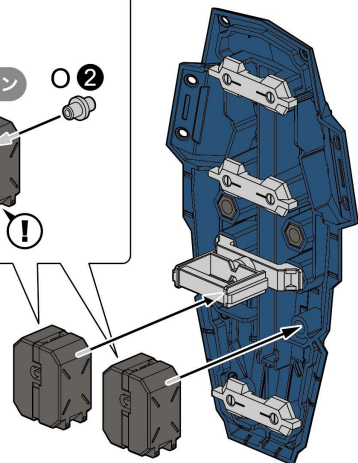
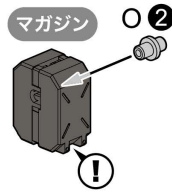


3mm軸として使用可能



X2

マガジン

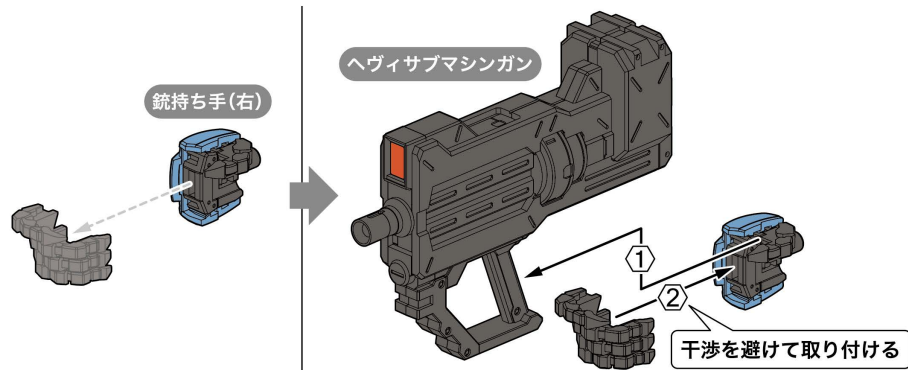


ギミック

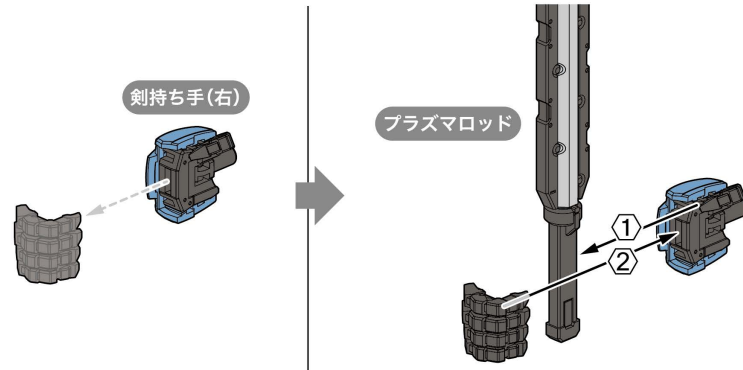
武器の持たせ方

※持たせた後、本体のハンドパーツと交換します。

〈ヘヴィサブマシンガン〉 ※銃持ち手(左)にも同様に持たせることができます。

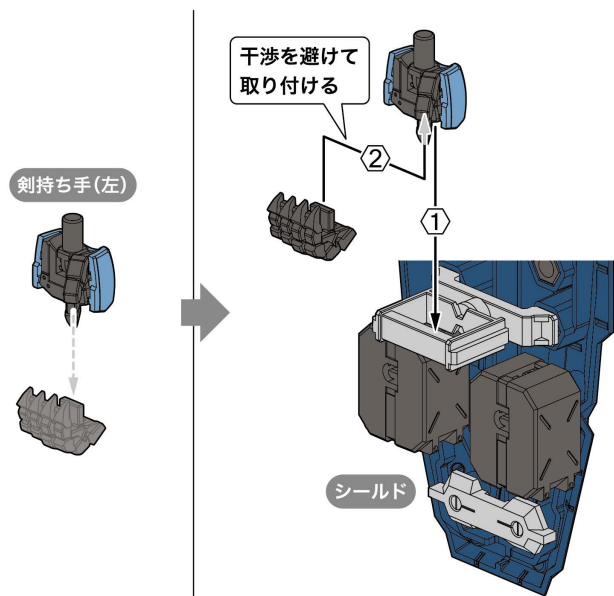


〈プラズマロッド〉 ※剣持ち手(左)にも同様に持たせることができます。



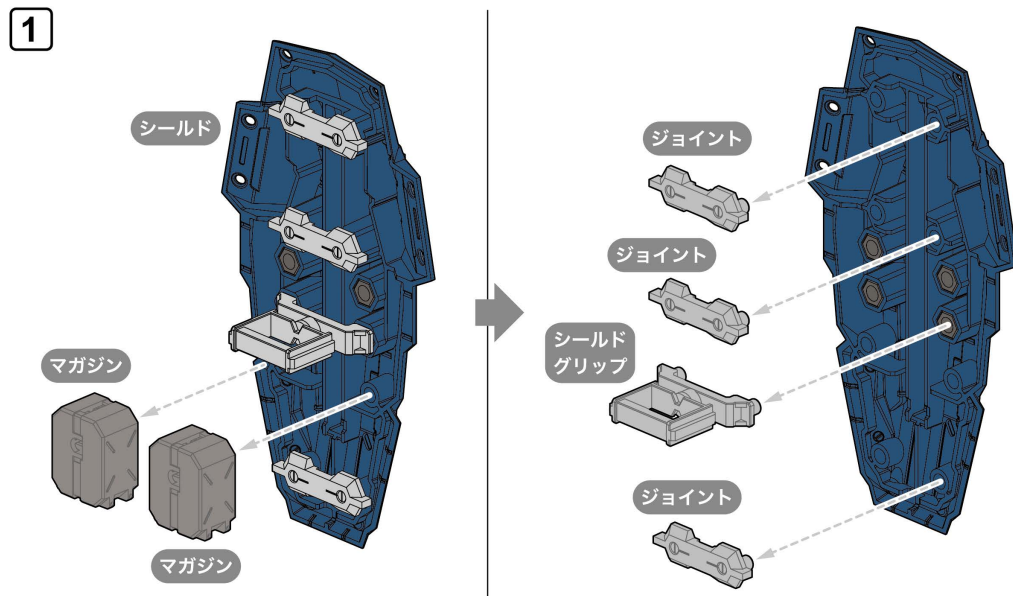
シールドの持たせ方

※剣持ち手(右)にも同様に持たせることができます。
※持たせた後、本体のハンドパーツと交換します。

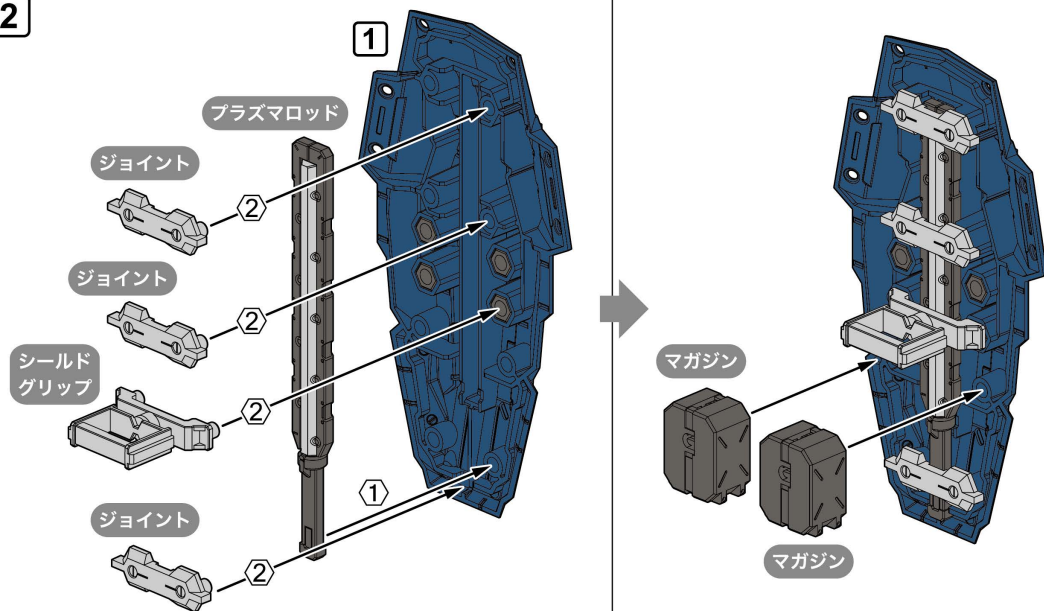


シールドへのプラズマロッドの格納

※展開は逆の手順で行います。

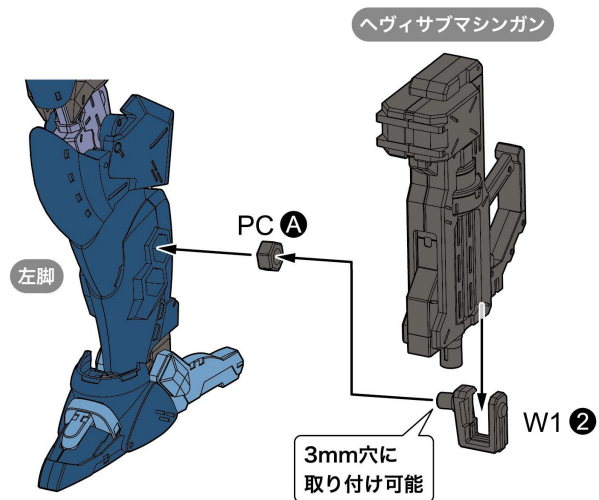


2



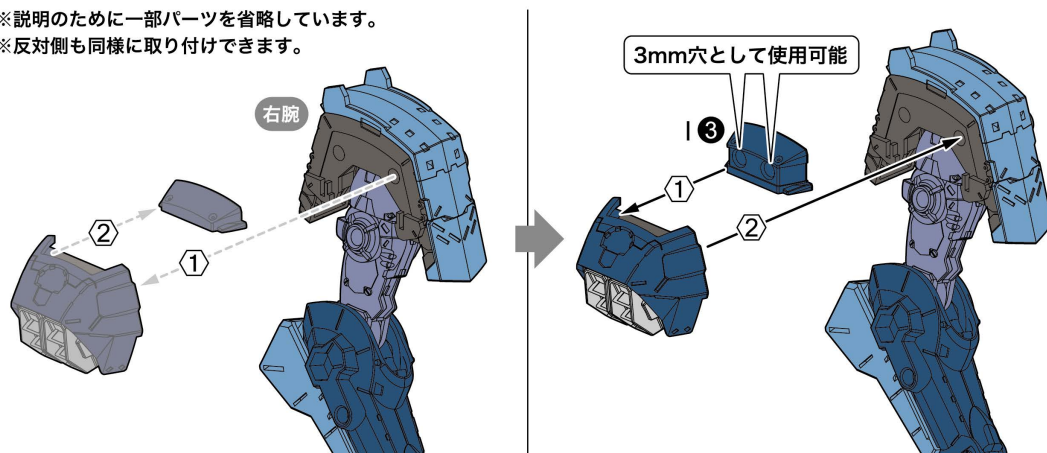
ヘヴィサブマシンガンのマウントについて

※右脚にも同様にに取り付けできます。

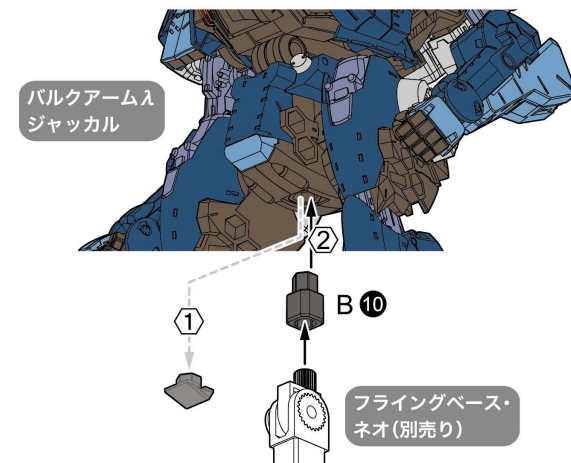


肩部拡張アタッチメントの展開について

※説明のために一部パーツを省略しています。
 ※反対側も同様にに取り付けできます。



展示ベースの取り付け方



FRONT



作例制作：フツオ(コトブキヤ企画)

ヘキサグラムを活用して自分だけのオリジナルヘキサギアを制作しよう！
ヘキサギアオフィシャルブログ「HEXA GEAR GOVERNORS GUIDE」にて
作例記事を公開中。
ヘキサギアの世界観や商品情報はオフィシャルサイトをチェックしよう！

■ オフィシャルサイト

HEXA GEAR.COM



hexa-gear.com

■ オフィシャルブログ

HEXA GEAR
GOVERNORS GUIDE



www.kotobukiya.co.jp/hexa-gear-gg

BACK



The HEXA GEAR main power unit is loaded into HEXA G-R.A.M and activated.
Information transfer initiated.
Combat zone information acquired.
HEXA GEAR emergency configuration initiated.
Link released, drive system converted to 3D-A.I.T. mode.

Thank you for raising me.
I grew under your exceptional, bizarre love.
Now, it is my turn to protect you.



BULKARM 1 JACKAL
The 2.5th generation of HEXA GEAR
ORGANIZATIONS IN POSSESSION OF THIS HEXA GEAR: DIVERSE USERS
DEVELOPER: MSG
CONTROL SYSTEM: BMI
MAIN POWER UNIT: HEXA G-R.A.M
MAIN WEAPON UNIT: MOTOR DOG, BARRICADE SHELL
SUB-WEAPON UNIT: HUNGRY BITE